卒業認定に関する方針

当校の教育理念を踏まえ、学生が身に付けるべき資質・能力の目標となる、卒業時に期待される人間像を定め、卒業認定の基本方針としている。学校長は、以下に定める資質・能力を身に付け、所定の修業年限を在学し、所定の単位を修得した学生に卒業を認める。

「卒業時に期待される人間像」

1　人間を身体的、精神的、社会的に統合された存在、生活者としてとらえることができる。
2　対象の尊厳を守る、豊かな人間性が身についている。
3　対象と信頼関係を築き、対象の意思を尊重し、倫理的な行動がとれる。
4　健康状態やその変化に応じ、安全・安楽・自立をふまえた看護実践ができる。
5　健康課題に対して科学的根拠に基づいた判断ができる。
6　保健・医療・福祉の動向と課題がわかり、自己の考えを発信しできる。
7　看護について考え語ることでき、学ぶことに興味・関心を持ち続けることができる。